

教科・学科	地歴	科目	地理A	単位数	2	学年	3
使用教科書	高等学校 新地理A	発行者の番号・略称	46 帝国	46 帝国	教科書の番号	地A 308	
	新詳 高等地図					地図 310	
指導者名	副教材等		・図説地理資料 世界の諸地域NOW2019・高等学校新地理Aノート				

1 学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題	第1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1地球上の位置と国家 ①地球上の位置 ②時差 ③球面と平面 ④国家の領域 2グローバル化が進む世界 ①結びつきを強める現代社会 ②世界を結ぶ交通 ③世界をつなぐ通信 ④世界の貿易 ⑤国際化と人々の移動	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀と世界地図の比較、略地図などを通して、地球表面上の大陸と海洋の形状や各国の位置関係、方位、時差及び日本の位置と領域などについて理解する。 ・交通・通信の発達、人や物の国際間の移動などに関する資料の収集、分析などを通して、諸地域間の相対的な位置、距離関係が変化し、人々の地理的視野が拡大すると共に国家間の統合や国際貿易などが活発化、複雑化していることをに気づく。 ・世界各地の消費や余暇に関する行動、観光、ボランティア活動などに関する資料の収集、分析などを通して、世界の人々の多様化する行動を地理的環境に関連付けて理解する。
	第2章人間生活を取り巻く環境 1生活に影響を与える環境条件とは 2人々の生活と機構 ①様々に変化する大地 ②世界の大地形と人々の生活 ③山地平野の地形と生活 ④海岸地形と生活 ⑤水河・カルスト・乾燥地形と生活 3人々の生活と気候 ①熱帯の気候と生活 ②乾燥帯の気候と生活 ③温帯の気候と生活 ④亜寒帯・寒帯の気候と生活 4人々の生活と産業 ①世界の農業と工業 5人々の生活文化 ①生活と宗教・言語の関わり ②生活文化のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏、行動圏に見られる世界と結びつく諸事象の地域調査やその結果の地図化などを通して、身近な地域の国際化の進展や日本と世界との結びつきの様子に気づく。 ・世界の自然環境は、地域によって大きく異なり、地形・気候などによって違うことを理解する。それが人間生活にどのように影響を与えているか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ①様々な地形と人間生活 ②気候と人間生活 ③自然環境以外の生活文化に影響を与えるもの
	第3章 世界の諸地域の生活文化 1中国の生活文化 ・都市の生活 ・巨大な人口 ・13億の人口と農業の変化 ・豊富な労働力と工業 2韓国の生活文化 ・自然環境 ・歴史と交流 ・産業の発展と生活の変化 3東南アジアの生活文化 ・都市と農業 ・工業の発展とASEAN 4インドの生活文化 ・ヒンドゥ教徒の生活 ・産業の発展 5西アジアの生活文化 6アフリカの生活文化 7ヨーロッパの生活文化 ・国境を超えて結びつく ・統合による産業変化 ・多民族多文化の共生 8ロシアの生活文化 ・極東の生活と日本とのつながり ・産業と日本のつながり 9アメリカの生活文化 ・様々な民族 ・国際化するアグリビジネス ・先端技術産業の発展と工業の変化 10ラテンアメリカの生活文化 ・産業とその変化 11オーストラリアの生活文化 ・内陸部の生活と農業 ・自然を生かした産業と世界の結びつき 12地球的課題と私たち ・環境問題・人口問題・食糧問題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて追究し、生活・文化を地理的に考察する視点や方法を見につけると共に、異文化を理解し、尊重することが必要であることを身に付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ①中国の生活文化 ②韓国の生活文化 ③東南アジアの伝統文化や生活の変化 ④インドの暮らしや文化・宗教と生活の関わり・産業変化 ⑤西アジア諸国におけるイスラームと生活の関わりについて石油資源と経済の関わりについて ⑥様々な民族と文化の様子と国が抱える問題について ⑦一体化が進むヨーロッパの実情・EU全体の産業の特徴 ⑧日本と関係が深いロシア・日本企業とロシア ⑨アメリカの多文化社会と発展を遂げた産業・アグリビジネス企業の成長理由・先端技術産業の発達と影響 ⑩ラテンアメリカにおける文化の多様性を先住民や歴史の観点からとらえる ⑪オーストラリアの多文化社会・気候に適した産業 ⑫環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野から追究し、地球的課題は地域を越えた課題であると共に地域によって現れ方が異なっていることを理解し、それらの問題解決にあたっては、各国の取り組みと共に国際協力が必要であることを理解する。

<p style="text-align: center;">第2部 身近な地域の 課題</p>	<p>第1章 身近にある様々な地図 ・身近な地図とその特色 ・GIS技術の仕組み ・GIS技術の活用と地図 ・目的に合わせた地図の作成</p> <p>第2章 日本の自然環境と防災 ・日本の自然環境 ・火山災害と防災 ・地震被害と防災 ・風水害と防災 ・身近な地域の防災を考える</p> <p>第3章 身近な地域の課題と地域調査 ・課題の設定 ・課題の調査 ・調査内容の発表</p>	<p>・生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身につける。</p> <p>・身近にある地図には一般図と主題図があることを理解する。</p> <p>・GISやGPSの仕組みについて理解し、それを活用することでどのような地図を作成することが可能になるかを理解する。</p> <p>・情報を地図化する方法を習得し、自分で地図を作成する。</p> <p>・地図を作成する際の留意点を理解する。</p> <p>・日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつか考える。</p> <p>・火山災害・地震災害・風水害にどのようなものがあるか理解し、災害に備えた取り組みや防災について考える。</p> <p>・身近な地域で発生しやすい災害を予測し、被害を軽減するために自分たちに何ができるか考える。</p> <p>・生活圏の課題などを取り上げ、地図化作業をして、その解決に向けた取り組みなどについて探求する。</p> <p>・まとめたことを発表する。</p>
---	--	---

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

教科・学科	地歴	科目	世界史A	単位数	2	学年	1
使用教科書	新版世界史A新訂版		発行者の番号・略称	7・実教		教科書の番号	世A 312
指導者名			副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 帝国書院 ・新版世界史A演習ノート 資料 高校生のためのふるさと富山			

1 学習の到達目標

<p>人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考能力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史への興味・関心を引き出し、世界の歴史の基本的な事項を理解する。 ・近現代史を中心に世界の歴史をわが国の歴史と関連付けながら理解する。 ・歴史的な視野から世界の構造や成り立ちを様々な観点から多角的に考察する。 ・国際社会に主体的に生きる民主的・平和的な国家の一員として必要な自覚と資質を養う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
1部 ユーラシアの諸文明	第1章 ユーラシアの諸文明と交流 1東アジア 2南アジア世界 3東南アジア世界 4イスラーム世界 5ヨーロッパ世界	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の発生進化の過程や文明の成立など人類史について概観し、広大な時空のスケールを意識させながら世界史学習への興味を持つ。 ・各地域の交流が活発化する16世紀以前に、各地で生まれてきた文明や文化の存在を理解する。 ・中国や日本、東南アジアを結ぶネットワークが大航海時代以前に存在していたことが理解できる。
2部 一体化する世界と日本	第2章 一体化に向かう世界と日本 1ルネサンスと宗教改革 2大航海時代 3ヨーロッパ・アメリカの諸革命 419世紀後半のイタリアとドイツ 5中華帝国の動揺 6東アジアの変革	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀以降の世界商業の進展と産業革命後の資本主義の確率を中心に、世界の一体化の課程を理解する。その際、ヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応に着目する。 ・大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流に触れ、16世紀の世界一体化への動きを理解する。 ・アジア諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の展開に触れ、17世紀及び18世紀の特質を理解する。 ・主権国家体制の形成とその下での派遣国家の出現及び交替について理解する。 ・絶対王政と議会政治という英物両国の相違と共に、強力な統一国家の出現について気づく。 ・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動に触れ、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解する。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の仮定での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の対応に触れ、19世紀の世界の一体化とその特質を理解する。 ・世紀転換期に向けて急激に進行したアフリカ分割・中国分割について知り、植民地獲得競争を背景とする列強間の同盟関係の積み重ねを通じて次第に対立が深まっていくことを理解する。
3部 地球社会と日本	第3章 現代社会のあゆみ 1帝国主義と世界分割 2第1次世界大戦とロシア革命 3東アジアの民族運動 4第二次世界大戦と世界の変容 5国際連合と冷戦 6第三勢力の結集 7冷戦後の世界 821世紀の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模で一体化した世界の特質と展開過程を理解し、人類の過大について考察する。 ・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などに触れ、20世紀という時代の特質を人類史的視野から理解する。 ・2つの大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義を考える。 ・米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題を考える。 ・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解し、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向などについて考える。 ・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追求し、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考える。 ・原子力の利用、情報科学、宇宙科学の出現など現代の科学技術の人類への寄与と課題を追求し、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考え、国際的な交流と協調の必要性に気づく。

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

教科・学科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年	1
使用教科書	最新現代社会 新訂版		発行者の番号・略称	7 実教		教科書の番号	現社315
指導者名			副教材等	最新図説 現社(浜島書店)			

1 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立ち、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題を主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
4	第1部 私たちの生きる社会	第1章 地球環境問題 第2章 資源エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題	人類の経済活動によって地球の環境に異変が生じていることを知る。 「生」と「死」の問題より、生と死における倫理的課題や個人の尊厳について考える。 高度情報化社会がもたらす利便性と弊害を理解する。 氾濫する情報を適切に取捨選択することの大切さを理解する。
5	第2部 現代の社会と人間	1 青年期と自己の形成 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる 第3章 日本人としての自覚	青年期の特徴について、主に心理学視点から自分の置かれている状況を理解する。 モラトリアムの意味と問題点を理解する。 現代社会の雇用の現状と課題を把握し、共生社会における働き方について考える。 身の回りの物と関連づけながら、日本の生活文化や伝統文化について理解する。 世界の様々な宗教を理解し、宗教の持つ意味について考える。
6		2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格	基本的人権は歴史的にどのように獲得されたかを理解する。 自由と責任について考える。 日本国憲法と大日本帝国憲法の相違点を考える。 三大原則と象徴天皇制のあり方について考える。 憲法で保障されている人権について理解する。
7			国会・内閣・裁判所の仕組みと特徴について理解する。 平和主義について9条と自衛隊の関連に基づいて考える。 マスメディアと世論の関わりについて考える。 生命・人間の尊厳・平等・公平な社会について考える。
8			
9		第3章 日本の政治機構と政治参加	国民がいかに政治に関わっていくか考える。 地方自治の意味や役割、新たな動きについて理解する。 選挙の仕組みや課題について考える。 司法制度の改革の背景と内容や、裁判員制度の趣旨を理解する。
10		3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	経済の基礎的な仕組みと概念について理解する。 景気・物価変動の原因を理解する。 経済をはかる「ものさし」について理解する。 日本経済の歴史的過程について理解する。 企業の役割について理解する。 財政と租税の仕組みと機能について理解する。 金融の仕組みと役割を理解し、金融の自由化の現状について考える。 社会保障制度・雇用の現状について考える。
11			
12			
1		4 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向 第2章 国際経済の動向と国際協力	大戦後の社会展開について理解する。 南北問題の現状を理解し、今後の展望を考える。 核の脅威から解放するには、不断の努力が必要であることを理解する。 国際平和を目指す国連の活動について理解する。 国際協力の現状を理解し、今後どうすれば促進できるか考える。 グローバル化について考える。 経済格差の問題をどう調整すれば望ましい解決になるか考える。 現世代と次世代の関係に着目し、公債残高の負担と幸福の調和について考える。 国際社会の維持発展について、自らがどのように関わるかを考える。
2			
3	第3部 共に生きる社会をめざして	共に生きる社会を目指して	これからの国際貿易について考える。 持続可能な社会について考える。

教科・学科	公民	科目	政治経済	単位数	2	学年	2年 (機械・電気・電子)
使用教科書	最新政治・経済		発行者の番号・略称	7 実教		教科書の番号	政経313
指導者名			副教材等	テーマ別資料政治・経済2019(とうほう) 最新政治経済演習ノート			

1 学習の到達目標

民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
4 5 6 7 8	第1編 現代の政治	第1章 現代国家と民主政治	民主政治の成立過程を知り、各国の政治体制を比較しながら、様々な考えの存在を理解する。
		第2章 日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立過程をもとにその特色を理解する。
		第3章 日本の政治制度と政治参加	議院内閣制、国会・内閣・裁判所の関連について理解する。裁判所の分野では、裁判員制度を理解する。
		第4章 現代の国際政治	第二次世界大戦後の冷戦状況と、冷戦終結後の国際問題について理解する。国際社会における日本の状況を考える。
		第5章 日本の平和主義と国際平和	日本国憲法の平和主義や、自衛隊の活動と役割について理解する。
10 11 12 1	第2編 現代の経済	第1章 現代の経済社会	経済体制や現代社会における経済体制の特徴を理解する。 3つの経済主体が相互に関連し、経済活動が行われていることに気づき、企業や政府の持つ役割が経済にどう関係しているのかを考える。
第2章 現代の日本経済と福祉の向上		高度経済成長における日本経済の発展と生じた弊害への対応を理解し、現在直面する問題と関連して考察する。	
第3章 現代の国際経済		国際経済に関する基本的な概念を理解し、国際貿易における国際協調の必要性、国際経済における日本の役割について考える。国際通貨の仕組みを理解する。	
第3編 現代社会の諸課題		テーマ学習 (テーマ例) ・中小企業 ・地域社会と住民生活 ・格差是正と国際協力 ・雇用と労働問題 ・食料問題 ・少子高齢社会と社会保障 ・地球環境問題 ・国際社会における日本の役割	現代社会における様々な問題から各自興味のあるテーマを選び、資料や新聞記事及び視聴覚教材などから研究、考察し、レポートにまとめる。
3			

* 年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。